

平成 24 年度 事業報告及び附属明細書

平成 24 年 3 月 23 日県知事の移行認定を受けて、4 月 1 日より公益財団法人静岡県予防医学協会としてスタートした。公益財団法人として、県民の疾病予防と健康増進を図るため、健診・検査・健康づくり支援及び予防医学に関する普及啓発事業等を実施し、公衆衛生の向上の寄与に努めた。

手狭となった総合健診センター・ヘルスポート（人間ドック施設）の規模を拡大し、人間ドック専用施設として前年度に整備したが、平成 24 年度は一日当たり 50 人の受診者を受入れる態勢ができたことに加え、2 診での内視鏡運用を開始するなどにより、年間 530 人の受診者数の増となった。

また、旧総合健診センター・ヘルスポートの施設を改修し、藤枝健診センターとして、24 年度から定期健診等の施設内健診を開始した。従来、総合健診センター・ヘルスポートの施設で実施していた定期健診等の受け入れ能力の増大に伴い、受診者の掘り起こしなどの PR 及び渉外活動を強力に推進したことにより、健診者数の増加となり、健診機会の拡大へと繋がった。

新規受注では学校 19 団体、地域・職域保健 90 団体を受託することができた。設備投資としては胸部デジタル X 線車の購入や車載用 X 線撮影装置のデジタル化など老朽化した現有機器の更新や健診の新たなニーズに対応するため機器等の整備を図った。

平成 24 年度の協会の執行状況については、次のとおりである。

I. 業務執行状況

1 役員会等の開催

・平成 24 年度第 1 回理事会(平成 24 年 6 月 11 日)

決議事項／平成 23 年度事業報告、平成 23 年度収支決算、評議員選定委員の選任、レントゲン車(胃・胸部併用車)の導入及び資金借入、長期借入金の借り換え、平成 24 年度定時評議員会の開催

出席等／理事現在数 11 名、出席理事 10 名、欠席 1 名。監事出席 2 名。

・平成 24 年度定時評議員会(平成 24 年 6 月 25 日)

決議事項／評議員長の選任、平成 23 年度事業報告、平成 23 年度収支決算及び同附属明細書並びに財産目録、理事の補欠選任、監事の補欠選任

報告事項／評議員選定委員の選任結果報告

出席等／評議員現在数 10 名、出席評議員 10 名、欠席 0 名。監事出席 1 名。

・平成 24 年度第 2 回理事会(平成 25 年 3 月 12 日)

決議事項／平成 25 年度事業計画案、平成 25 年度収支予算案、資金調達及び設備投資の見込みについて

報告事項／職務の執行状況の報告

出席等／理事現在数 12 名、出席理事 10 名、欠席 2 名。監事出席 2 名。

2 運営会議（毎月一回）の開催

平成 24 年 4 月 23 日、平成 24 年 5 月 28 日、平成 24 年 6 月 22 日、平成 24 年 7 月 30 日、平成 24 年 8 月 27 日、平成 24 年 9 月 24 日、平成 24 年 10 月 29 日、平成 24 年 11 月 26 日、平成 24 年 12 月 17 日、平成 25 年 1 月 28 日、平成 25 年 2 月 25 日、平成 25 年 3 月 25 日

会議内容／事業の推進及び経営上の重要事項等の協議、他

出席者／副理事長、専務理事、常務理事、他理事 2 名及び協会幹部職員。

II. 予防医学事業

1 母子保健分野における健診・検査（母子保健）

静岡県、静岡市、浜松市からの委託事業による新生児に対する先天性代謝異常症等検査、先天性甲状腺機能低下症検査及び自己負担による神経芽細胞腫検査を実施した。

母子保健検査実施状況

項目	平成 22 年度		平成 23 年度		平成 24 年度	
	件数	前年比%	件数	前年比%	件数	前年比%
先天性代謝異常症等検査	33,897	99.6	33,514	98.9	32,425	96.8
先天性甲状腺機能低下症検査	33,897	99.6	33,514	98.9	32,425	96.8
計	67,794	99.6	67,028	98.9	64,850	96.8
神経芽細胞腫検査	1,577	78.3	1,478	93.7	1,487	100.6

2 学校保健分野における健診・検査（学校保健）

(1) 腎臓、糖尿病検診

保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学、特別支援学校等の児童、生徒、学生の全学年を対象に腎臓病検診及び糖尿病検診を実施した。

(2) 心臓病検診

小学校、中学校、高等学校の1年生を主に心臓病検診を実施した。

(3) 貧血検査

小学校、中学校、高等学校及び専門学校、特別支援学校の生徒を対象に実施した。

(4) 脊柱側弯症検査

小学校、中学校生徒を対象に脊柱側弯症検査を実施した。

(5) 生活習慣病予防検診

小学校高学年、中学校1年生及び高等学校1年生を主に生活習慣病予防検診を実施した。

(6) 寄生虫検査

保育園、幼稚園、小学校、特別支援学校の児童、生徒を対象に、寄生虫卵及び蟯虫検査を実施した。

(7) 聴力検査、血圧検査

小学校1・2・3・5年生、中学校及び高等学校1・3年生を主に聴力検査及び血圧検査を実施した。

学校保健健診・検査実施状況

項目	平成 22 年度		平成 23 年度		平成 24 年度	
	件数	前年比%	件数	前年比%	件数	前年比%
腎臓検診	256,155	100.2	237,984	92.9	266,643	112.0
糖尿病検診	256,155	100.2	237,984	92.9	266,643	112.0
心臓病検診	71,808	98.6	71,387	99.4	72,861	102.1
貧血検査	46,464	96.3	46,084	99.2	45,751	99.3
脊柱側弯症検査	9,937	99.4	9,901	99.6	9,740	98.4
生活習慣病予防検診	8,726	86.0	9,712	111.3	9,399	96.8
寄生虫検査（虫卵）	365	85.5	379	103.8	374	98.7
”（蟯虫）	141,220	98.8	138,370	98.0	119,523	86.4
聴力検査	42,325	101.0	40,319	95.3	37,568	93.2
血圧測定	1,865	88.1	1,956	104.9	2,695	137.8
計	578,865	99.1	556,092	96.1	564,554	101.5

3 職域保健分野における健診・検査（職域保健）

(1) 定期健康診断、雇入時健康診断

企業等の従業員に対する労働安全衛生法に基づく定期健康診断及び雇入れ時に行う雇入時健康診断を実施した。

(2) 特定健診・特定保健指導

「特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準」（厚生労働省）に基づき実施した。

(3) 特殊健康診断

有機溶剤、鉛、電離放射線、特定化学物質、粉じん等の業務従事者に対する健康診断及び行政指導によるVDT及び重量物等を取り扱う者に対する頸肩腕、腰痛等の健康診断を実施した。

(4) 胃がん検診

X線撮影による胃がん検診を実施した。

(5) 肺がん検診

X線撮影及び喀痰細胞診による肺がん検診を実施した。

(6) 大腸がん検診

便潜血反応検査による大腸がん検診を実施した。

(7) 子宮頸がん検診

細胞診による子宮頸がん検診を実施した。

(8) 乳がん検診

超音波、マンモグラフィ及び視触診による乳がん検診を実施した。

(9) 前立腺がん検査

血液検査による前立腺がん検査を実施した。

(10) その他検査

その他として、寄生虫卵検査、骨粗鬆症検査を実施した。

職域保健実施状況

項目	平成 22 年度		平成 23 年度		平成 24 年度	
	件数	前年比%	件数	前年比%	件数	前年比%
定期健康診断	114,233	102.5	118,354	103.6	131,895	111.4
雇入時健康診断	443	139.3	878	198.2	1,801	205.1
特殊健康診断	25,553	102.1	25,117	98.3	28,167	112.1
特定健診(主婦健診含)	3,723	1,707.8	3,451	92.7	3,372	97.7
特定保健指導	※ 594	118.8	369	-	624	169.1
胃がん検診	17,055	117.7	15,777	92.5	19,919	126.3
肺がん検診	86,179	104.7	84,520	98.1	100,699	119.1
大腸がん検診	32,810	108.4	32,243	98.3	39,428	122.3
子宮頸がん検診	1,090	119.7	1,112	102.0	1,643	147.8
乳がん検診	1,184	57.2	1,223	103.3	1,586	129.7
前立腺がん検査	983	-	1,032	105.0	1,476	143.0
寄生虫卵検査	1,041	99.5	898	86.3	860	95.8
骨粗鬆症検査	66	10.5	131	198.5	118	90.1
計	284,954	-	285,105	-	331,588	116.3

※特定保健指導は、22年度までは総合健診センター実施分を含んだ数字を計上

4 地域保健分野における健診・検査（地域保健）

1) 住民健診

(1) 特定健診・特定保健指導

「特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準」（厚生労働省）に基づき実施した。

- (2) 胃がん検診
X線撮影による胃がん検診を実施した。
- (3) 肺がん検診
X線撮影及び喀痰細胞診による肺がん検診を実施した。
- (4) 大腸がん検診
便潜血反応検査による大腸がん検診を実施した。
- (5) 子宮頸がん検診
細胞診による子宮頸がん検診を実施した。
- (6) 乳がん検診
超音波、マンモグラフィ及び視触診による乳がん検診を実施した。
- (7) 前立腺がん検査
血液検査による前立腺がん検査を実施した。
- (8) その他検査
その他として、寄生虫卵検査、骨粗鬆症検査を実施した。

住民健診実施状況

年 度 項 目	平成 22 年度		平成 23 年度		平成 24 年度	
	件 数	前年比%	件 数	前年比%	件 数	前年比%
特 定 健 診	3,827	95.6	4,275	111.7	4,332	101.3
胃 が ん 検 診	6,798	151.3	7,130	104.9	7,099	99.6
肺 が ん 検 診	14,767	230.1	14,165	95.9	35,608	251.4
大 腸 が ん 検 診	9,644	166.6	11,605	120.3	11,833	102.0
子 宮 頸 が ん 検 診	5,169	167.4	5,794	112.1	6,138	105.9
乳 が ん 検 診	6,128	127.8	6,552	106.9	6,970	106.4
前 立 腺 が ん 検 査	2,077	-	2,421	116.6	2,559	105.7
骨 粗 鬆 症 検 査	1,294	142.4	1,297	100.2	1,901	146.6
計	49,704	-	53,239	107.1	76,440	143.6

2) 総合健診 (人間ドック)

- (1) 基本ドック
人間ドック学会、健保連の基準項目に協会独自の項目を追加し、実施した。
- (2) 脳ドック
脳MRI (断層像)・MRA (血管像)と頸部MRA (血管像)の健診を行う。また、脳ドックAコースでは人間ドックの検査項目に準じた健診を実施した。
- (3) 婦人科検診
子宮がんに対し内診、細胞診、乳がんに対してマンモグラフィ等による検診を実施した。
- (4) 骨ドック
前腕及び腰の骨密度検査を実施した。
- (5) その他の検診
 - ① オプションとして以下の検査を実施した。
〔動脈硬化度測定、寄生虫検査、前立腺がん検査(PSA)、男性・女性腫瘍マーカー検査、甲状腺検査、ピロリ菌検査、胃カメラ、腹部CT検査、ヘリカルCT検査など〕
 - ② 生活習慣病予防健診
 - ③ 定期健康診断
- (6) 二次検査
以下の検査を実施した。
〔胃カメラ、注腸検査、心臓超音波、ホルター心電図、血液・尿二次検査、ヘリカルCTなど〕

(7) その他

- ・施設の整備に伴い2診での内視鏡の運用を実施した。
- ・人間ドックを主とした健診内容に見直しを行った。

総合健診センター健診事業実施状況

項目	平成 22 年度		平成 23 年度		平成 24 年度	
	件数	前年比%	件数	前年比%	件数	前年比%
基本ドック	8,517	104.5	8,784	103.1	9,286	105.7
脳ドック (A)	134	159.5	85	63.4	91	107.1
脳ドック (B)	1,800	116.8	1,572	87.3	1,675	106.6
婦人科検診	4,103	109.0	4,253	103.7	4,614	108.5
骨ドック	1,018	98.8	730	71.7	634	86.8
特定保健指導	※		124	—	182	146.8
その他の検診	5,488	112.6	6,611	120.5	1,812	27.4
二次検査	2,231	109.2	2,569	115.2	2,683	104.4
計	23,291	109.2	24,728	—	20,977	84.8

※特定保健指導は22年度まで職域保健に一括計上

3) 諸検査

(1) 細菌検査

法により義務付けられている集団給食、食品営業及び水道施設関係従事者に対し、腸内細菌、腸管系病原菌等の検査を実施した。

(2) 血清学的検査

B型肝炎抗原抗体検査及びC型肝炎ウイルス検査を実施した。

(3) その他

学校生徒の血液(血清鉄、総コレステロール等)の検査及び事業所等からのその他検査を実施した。

諸検査実施状況

項目	平成 22 年度		平成 23 年度		平成 24 年度	
	件数	前年比%	件数	前年比%	件数	前年比%
細菌検査	78,516	98.1	76,256	97.1	76,412	100.2
血清学的検査	39,929	93.5	35,185	88.1	42,653	121.2
その他	11,775	87.6	15,448	131.2	22,562	146.1
計	130,220	95.6	126,889	97.4	141,627	111.6

※件数は検査項目数を計上

5 健診・検査結果に基づいた保健・栄養・運動指導等の健康づくり支援(保健栄養運動指導)

健康保険組合員、共済組合員等に対し、運動指導、健康講話を実施した。

総合健診センター健康啓発事業実施状況

項目	平成 22 年度		平成 23 年度		平成 24 年度	
	件数	前年比%	件数	前年比%	件数	前年比%
運動指導			※171		151	88.3
健康講話			20		20	100.0
保健相談			594		749	126.1
栄養相談			635		611	96.2
計			1,863		1,531	82.2

※総合健診センターでの実施分に訂正

6 広報紙や研修会等による疾病予防、健康増進に関する知識の普及・啓発（健康啓発・健康教育）

予防医学・保健事業の普及を図るため、講演会の開催、広報誌の発行、啓発紙の配布等の事業を実施した。

(1) 講演会の開催

講演会名	開催年月	概要	参加人員
学校保健セミナー	25年2月	<ul style="list-style-type: none"> ・演題①子宮頸がんとHPVについて ロシュ・ダイアグノスティクス(株)鈴木徹哉 ・演題②若者に忍び寄る性感染症の脅威 愛知医科大学病院 三嶋廣繁教授 ・対象 学校養護教諭等 ・会場 アクトシティ浜松 研修交流センター 	55
産業保健セミナー	25年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・演題「これからの時代を元気にたくましく生きるために」 田中総研 田中雅子代表 ・対象 企業等健康保健担当者 ・会場 静岡県男女共同参画センターあざれあ 	139

(2) 広報、啓発資料の配布等

- ① 事業年報 1, 100 部
- ② 広報紙「けんこう静岡」 14, 400 部
- ③ 予防医学ジャーナル 864 部
- ④ 家族と健康 600 部
- ⑤ 業務案内 5, 000 部
- ⑥ 健康ビデオの貸出し なし
- ⑦ インターネット（ホームページ）への情報掲載

7 健診検査データを利用した予防医学に関する調査研究（調査研究事業）

次の調査研究を実施した。

- (1) 健診検査データの活用による調査研究と健康づくりのための情報提供
- (2) 小学校の蟻虫卵陽性率の郡市別分布調査
- (3) 「アユ」における横川吸虫被囊幼虫寄生の実態調査
- (4) 予防医学技術研究会議での調査研究

8 その他当協会の目的を達成するために必要な事業（その他目的を達成するために必要な事業）

(1) 機器の整備等

住民・企業健診の新たなニーズ及び現有機器の老朽化等に対応するため、以下の機器を購入した。

	品名	金額（税別、円）
機器の整備	胸部デジタルX線検診車	40,000,000
	富士車載用胸部X線撮影装置	13,000,000
	婦人科検診車	9,450,000
	東芝医用画像観察装置	4,300,000
	学童用心音心電計（解析付）	2,590,000
	学童用心音心電計（解析付）	2,590,000
	無散瞳デジタル眼底カメラ	2,400,000
	メールシーラー	1,335,000

※100万円以上の機器を記載

(2) 職員の資質、検査技術の向上

日本医師会、予防医学事業中央会、全国労働衛生団体連合会、日本総合健診医学会等が開催する研修会、研究会、講習会等に積極的に参加し、職員の資質及び検査技術の向上に努めた。また、医療制度改革にともなう諸課題へ対応していくための勉強会を積極的に実施した。

(3) 関係機関との連携等

県健康福祉部、県・市町教育委員会、県・郡市医師会、結核予防会静岡県支部、予防医学事業中央会、全国労働衛生団体連合会、健康教育推進本部等の関係機関との緊密な連携を図り、円滑な事業の推進に努めた。

特に 24 年度は関係団体との連携協調の一環として、予防医学事業中央会との共催により、「全国業務研修会」を 2 月に、静岡市で開催した。

なお、24 年度も県健康福祉部疾病対策課からの依頼を受けて、ハンセン病関連業務を実施した。

報告事項 広報紙「けんこう静岡」の発行

第109号 平成24年4月1日発行

巻頭「学校心臓検診の現状と意義」

静岡県立こども病院循環器科 小野安生

- ・保健指導担当職員による生活習慣改善コラム 「よく噛む」ことの効果
- ・第38回学校保健セミナー開催の報告
「私の支援ノートから～指導がむずかしい子どもへの支援の実際～」
特別支援教育ネット代表・宇部フロンティア大学臨床教授 小栗正幸

第110号 平成24年7月1日発行

巻頭「健康長寿プログラムの開発と普及」

～働き盛り世代（40～64歳）の県民を対象に個人の健康づくりを支援する環境づくりを行います！～

静岡県健康福祉部医療健康局健康増進課長 柳本仁

- ・保健指導担当職員による生活習慣改善コラム 「あなたは貧血だいじょうぶ？」
- ・ヘルスポートだより
大腸CT検査の紹介

第111号 平成24年10月1日発行

巻頭「腸管出血性大腸菌について」

元静岡市衛生研究所長 北條紈生

- ・保健指導担当職員による生活習慣改善コラム 「普段の生活習慣を振り返りましょう」
- ・健康運動指導士の活動紹介
西部検査所 健診検査課 川島まや

第112号 平成25年1月1日発行

巻頭「新年を迎えて」

理事長 横田通夫

- ・知事年頭挨拶 静岡県知事 川勝平太
- ・保健指導担当職員による生活習慣改善コラム 「休養の達人に」
- ・「HPVと子宮がん検診」
西部検査所 健診検査課 山下香織
- ・「ABC検診って??」
藤枝健診センター 健診検査課 寺尾真由美
- ・協会けんぽ 生活習慣病予防健診のご案内

小学校生徒の蟯虫卵陽性率の郡市別分布調査及びアユにおける横川・宮田吸虫被囊幼虫寄生の実態調査について、次のとおり報告する。

小学校生徒の蟯虫卵陽性率の郡市別分布調査

区分 市郡別	年度別陽性率・順位（○印）		
	平成22年度 順位 %	平成23年度 順位 %	平成24年度 順位 %
下田市	0	③ 0.09	① 0.10
熱海市	⑥ 0.07	0	0
伊東市	⑦ 0.06	⑤ 0.06	② 0.06
御殿場市	0	0	0
伊豆市	③ 0.14	0	0
伊豆の国市	0	0	0
静岡市	① 0.19	① 0.13	④ 0.04
焼津市	—	—	—
島田市	—	—	—
御前崎市	0	0	0
牧之原市	④ 0.11	⑥ 0.04	0
掛川市	—	—	—
袋井市	0	0	0
磐田市	⑩ 0.02	0	⑤ 0.02
天竜市	—	—	—
浜松市	② 0.15	② 0.12	③ 0.05
湖西市	⑧ 0.05	⑧ 0.03	0
菊川市	⑨ 0.04	⑦ 0.04	0
賀茂郡	0	0	0
田方郡	—	—	—
駿東郡	⑤ 0.09	④ 0.09	0
富士郡	—	—	—
庵原郡	—	—	—
榛原郡	—	—	—
小笠郡	—	—	—
磐田郡	—	—	—
周智郡	0	0	0
浜名郡	0	0	—
引佐郡	—	—	—
県平均	0.11	0.08	0.03

※（1）焼津市、島田市、掛川市、富士郡は実施していない。

※（2）16年度以降は、合併による新市、町による表示とする。

伊豆市—旧修善寺町・土肥町・天城湯ヶ島町・中伊豆町、伊豆の国市—旧伊豆長岡町・菰山町・大仁町
 静岡市—旧静岡市・清水市・蒲原町・由比町、島田市—旧島田市・金谷町・川根町、牧之原市—旧相良町・榛原町
 御前崎市—旧御前崎町・浜岡町、菊川市—旧小笠町・菊川町
 磐田市—旧磐田市・福田町・竜洋町・豊田町・豊岡村 袋井市—旧袋井市・浅羽町
 浜松市—旧浜松市・天竜市・浜北市・春野町・龍山村・佐久間町・水窪町・引佐町・細江町・三ヶ日町・雄踏町・舞阪町

「アユ」における *Metagonimus* 属の被囊幼虫寄生の実態調査について (2012年度分)

【はじめに】

Metagonimus 属の横川・宮田吸虫類の人体感染源としては、淡水魚 40 余種に及ぶことが知られておりなかでもアユが有名である。2012 年 8 月から 9 月末にアユにおける *Metagonimus* 属の被囊幼虫（メタセルカリア）の寄生状況を静岡県内の河川ごとに調査した。また、1973 年度からの調査の結果を併せて年度別河川別にまとめた。

【方 法】

今年度もアユ産地として知られる主要 8 河川の各漁業組合にご協力をいただいて、アユを回収した。アユの保存状態は、できるだけ冷凍保存でないアユをお願いした。回収したアユの体長及び重量を計測し、アユの両側のウロコすべてを剥がし、また筋肉も薄く切ってからペースト状にし、ウロコ・筋肉内に寄生している被囊幼虫を光学顕微鏡で算定した。

【結果及び考察】

被囊幼虫の河川別寄生状況についての調査結果をウロコ、筋肉、及び 1973 年からの年度別河川別寄生率にまとめた。

- 1 今回の検査魚数はウロコ、筋肉ともに 58 尾で、そのうちウロコの被囊幼虫寄生魚は 25 尾 (43.1%)、筋肉の被囊幼虫寄生魚は 20 尾 (37.7%) であった。
- 2 ウロコにおける被囊幼虫寄生率
 - (1) 県内を東、中、西部の地区別に寄生率を前年度と比較すると、
 - 1) 東部では今年度 20.0% であり増減はなかった。
 - 2) 中部では今年度 13.3% であり 6.6% 上昇した。
 - 3) 西部では今年度 63.6% であり 27.9% 上昇した。
 - (2) 河川別に寄生率を前年度と比較してみると、
 - 1) 上昇したのは 3 河川であった。
 - 2) 低下したのは 1 河川であった。
 - 3) 変化がなかったのは 4 河川であった。
- 3 筋肉内における被囊幼虫寄生率
 - (1) 寄生していたのは 8 河川中、中部 (1 河川) と西部 (1 河川) の 2 河川であった。
- 4 一般にアユにおける *Metagonimus* 属の被囊幼虫の寄生部位は、ウロコに 53%、筋肉内に 40%、ヒレに 7% といわれている。
- 5 *Metagonimus* 属の人への感染予防は、十分な加熱調理をすることである。

予防医学技術研究会議での調査研究

第 47 回予防医学技術研究会議（福島県）

平成 25 年 2 月 14 日、15 日

①経鼻内視鏡検査における前処置法を検討

～スティック法とジャクソン法を比較して～

経鼻内視鏡検査の受診者数の増加に伴い受診者への苦痛軽減を図るため、前処置の鼻腔麻酔法についてスティック法とジャクソン法の比較検討を行い報告した。

②当協会における運動指導の取り組み

総合健診センターでの運動指導への取り組み状況と問題点の検討を報告した。

③B 型肝炎ワクチン接種後の HB s 抗体価の変動について

企業における事前検査及び B 型肝炎ワクチン接種の実施において、過去 3 年間の HB s 抗体の測定結果の集計を行い、得られた結果から抗体価の変動について報告した。

④健診における過誤報告システム導入について

提供する医療の安全管理や医療事故防止の徹底を図るため、現行の手法からパソコンを利用した医療事故報告システムを導入し状況及び今後の課題を報告した。